

2018 JAPAN KART CUP with HDX シリーズ第3戦
 開催コース/富士スピードウェイ・ショートサーキット (静岡県)
 主催/日本スーパーカート協会
 開催日/7月8日 (日) 天気/曇り 路面状況/ドライ



HDX OPEN クラス表彰式。優勝した Force 1



HDX KT100 表彰式。優勝は昨年も参戦してくれた4人チームの山特が獲得した



JAPAN KART CUP with HDX シリーズ第3戦



カート好きが集まったチーム山特。KT100 に参戦してクラス優勝&総合 5 位に入賞した



KT100 クラスに登場した大車輪。山特には届かなかつが 257 周をマークしてクラス 2 位



ROK エンジンを搭載したマシンで OPEN クラスに参戦した Force 1。会社の仲間で構成



雲が太陽を遮ることが多く、例年よりも暑さが和らいだコンディションでのレースとなった

シリーズ第3戦は毎年恒例、年に1度のサマーフェスティバルだ。今回は例年よりもボリュームアップが図られ、走行時間3時間という、まさに夏の耐久イベントとしてふさわしい内容での開催となる。舞台は富士スピードウェイ・ショートサーキット。こちらはフォーミュラカーのスクールとして設計されているため、独特のレイアウトが特徴のサーキットだ。

さて、ヒグラシが大合唱するなかの午後1時にレースのスタートは切られた。湿度が高く蒸し暑いものの、雲が多かったことで直射日光が遮られ、例年よりも暑さは和らいだコンディションでのレースとなった。

HDX総合トップを獲得したのはKT100クラスに参戦した山特だ。カート好きが集まって構成されたチームで、昨年の大会にも参戦しているチームとなる。たっぷり269周を走りきってのフィニッシュだった。OPENクラスではForce1がクラストップ。スタートとフィニッシュでマシントラブルに見舞われたのだが、総合8位に入る健闘をみせてくれた。